

NEWS RELEASE

関西国際空港株式会社

経営戦略室広報グループ

TEL : 072-455-2201

FAX : 072-455-2052



2008年(平成20年)11月18日

不法侵入事案対処訓練の実施について

国内外アクセスの要である空港でのテロ対策の一環として、不法侵入事案発生時の適切な対処能力の向上を図ることを目的とした訓練を下記のとおり実施します。

記

1. 実施日時

平成20年11月27日(木)午前9時30分～10時00分

2. 場所

関西国際空港1期空港島「貨物地区」周辺及び20号門周辺

3. 主催

関西国際空港保安委員会

4. 参加機関

- (1) 大阪府警(関西空港警察署、大阪水上警察署)
- (2) 海上保安庁関西空港海上保安航空基地
- (3) 関西国際空港株式会社
- (4) 警備会社

このほか、情報伝達訓練を実施する。訓練参加機関～大阪航空局関西空港事務所、関西国際空港危機管理官室、大阪税関関西空港税関支署、大阪入国管理局関西空港支局など
総計17機関約70名・車両5台・舟艇2艇。

5. 訓練想定概要

車両で制限区域への不法侵入を企図する者に対し、警察と警備員が協力して犯人を確保するほか、通報を受けた海上保安庁および大阪府警が舟艇による警戒配備を行う。

詳細は、別添のとおり。

ホームページ <http://www.kansai-airport.or.jp>

訓練想定概要

犯人車両は、警備員の制止を振り切って国際貨物地区に通じる55号門を突破した後、空港灯台下で一時潜伏するが警備車両に発見され、パトカーおよび警備車両に追跡される。

1期空港島南端の制限区域に通ずる20号門で、制限区域側から警戒していた警備車両とパトカーの挟み撃ちになり車両から降りて、発煙筒等を振り回して抵抗しながら制限区域への侵入を図ろうとする犯人を警察官及び警備員が協力して犯人の確保にあたる。

今回の訓練は、55号門で防犯用のカラーボールを使用して犯人を特定するほか、パトカーおよび警備車両に追いかけられながら逃走する途中の20号門手前にも訓練号門を設定し、逃走しようとする犯人車両にペイント弾発射機を使用して逃走を阻止する。

情報伝達訓練として、事案を認知した中央警備防災センターから関係機関への一斉通報およびメール配信を実施する。

【訓練位置図】



【20号門周辺詳細図】

